



## 戦没者並びに消防殉職者追悼式 尊い犠牲を忘れてはいけない！

10月21日（金）、大崎町中央公民館において大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式が行われました。

式には、遺族や関係者が参列し、全員で黙とうを捧げました。東靖弘町長が『現在の平和がもたらされた陰には、尊い犠牲があったことを忘れてはいけない。戦没者と消防殉職者の皆様の勇気と責任感、今もなお我々の模範となっています。ご冥福をお祈りいたします。』と式辞を述べました。

続いて、町議会議長、遺族代表、消防団団長が追悼の言葉を述べ、関係団体の代表者が献花を行いました。



▲戦没者並びに消防殉職者へ献花を行いました。



## 共生・協働推進講演会！ みんなが主役

10月23日（日）、あすばる大崎において大崎町共生・協働推進講演会が行われました。

これは、自治公民館や公民分館、NPO、行政などの多様な主体が、相互に特性や役割を認識し、尊重しあいながら、対等な立場で、共通の目的を達成するために開催したもので各種団体から80人の参加がありました。

講演会では、県共生・協働推進課の前田勉主幹が『共生・協働による地域社会づくり』について、鹿児島大学法文学部の片桐志津子准教授が『少子高齢化と地域コミュニティの再生』について講演を行いました。

最後に役場総務課消防交通係美座主任が東日本大震災の災害復興支援活動の報告と自主防災組織の重要性について話しました。



▲地域づくりのヒントがたくさんつまった、講演会となりました。



## 子どもたちの育ちを考える学習会 健やかな小学校生活のために！

10月21日（金）、中央公民館において『大崎町の子どもたちの育ちを考える学習会』が開催され、子供の教育に携わる保育士、学校教諭、保護者など約50人が集いました。

鹿児島大学大学院 臨床心理研究科 土岐篤史准教授を講師に迎え『健やかな小学校生活のために』と題した講話が行われました。

土岐准教授は、「子どもは発達する存在とし、早い遅いの違いはあっても発達の道筋は同じである。発達段階の特性を理解して」と話されました。

また、自閉症をはじめとする広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害（ADHD）などの発達障害の理解について学びました。



▲学校現場の現状、教育行政の立場、親の立場など様々な視点から講話が行われました。